

今年も残すところ十日となりました。今学期は若鳩祭、ミニ体育祭を始め、部活動の各種大会への参加、SSHや理数科関係の発表や探究活動に、全力で取り組む皆さんのお姿を見る事ができました。その一方で、思うように学業成績が伸びず苦しんだ人もいるかもしれません。三年生でも、希望がかなつて年内に進路が決定した人、これら本格的な受験シーズンを迎える人、さまざま思いで年末を過ごすことと思いまが、最近読んだ漫画『チ。』『地球の運動について』(魚豊)という作品の中に、心を動かされる言葉がありましたので、紹介したいと思います。



二学期を振り返って

教頭山崎早智

るためじやないそ、「考える」と「為」だ。一見、無関係な情報と情報の間に関わりを見つける。ただの情報を、使える知識に変えるんだ。その過程に知性が宿る。……それがあれば、留まる勇気と踏み出す度胸が得られる」

この作品タイトル『チ。』には三つの意味が込められていると考えられます。地動説の「地」、知識、知性、真理を探求する「知」、そして知識や信念をつなぐために流された「血」です。舞台は十五世紀のヨーロッパ。教会が説く天動説こそが絶対的な真理であり、地動説を研究することは異端とされ命を危険にさらす行為でした。

にもかかわらず、登場人物たちは地動説の持つ数学的な美しさや合理性に心を奪われ、

苛烈な拷問や死の恐怖に直面してもなお、「知りたい」という純粹な情熱を手放すことはありません。「神」に判断や責任をゆだねるのではなく、たとえ命と引き換えにしても、自分の頭で考え、眞理に触れる瞬間の感動を切実に求めるその姿には圧倒されます。そして、唐突に、容赦なく、理不尽に彼らの命は絶たれ、世界や歴史が変わる瞬間を、ついに誰一人として見ることはできません。しかし、その「知」は後世の人々に託されていくのです。

もちろん、この作品はファンションです。しかし、私たちは地学、あるいは世界史上の事実としてコペルニクスが提唱した「地動説」を知っています。その「知」は、決してコペルニクス一人が生み出したものではなく、無数の人々が数百年をかけてコペルニクスまでつなげたものです。そして、一五四三年にコペルニクスが提唱した「知」のバトンがガリレオ、ケプラー、ニュートンによつ

てつながれ、最終的に一八二八年にベッセルが地動説を証明するまで、実に三百年がかかっているという事実にため息が出ます。しかし、自然科学のみならず、数学、歴史、文学、芸術、およそ私たちが今学んでいる学問は、すべて先人たちの「知」の集積と言えるのではないでしようか。そして、私たちは誰かが命懸けでつないだ「知」のバトンを受けた立場でそれを後世につなぐ役割を負わされた、ピースの一つであるとは言えないでしょうか。「考える為に学べ。知性があれば留まる勇気と踏み出す度胸が得られる」。これは正解なき時代を生きる私たちにとつても、心に響く言葉です。

ここで、生徒の皆さんに間いたいのは、普段何気なく使っている「目標」と「目的」の違いです。「三ヶ月以内に五キロ痩せる」。「インタハイで上位入賞する」。「教師になる」。これらは、あなたにとって目標でしょうか。よく似た言葉ですが、「標」は「しる

若
也

W A K A B A T O
発行所
高知県立高知小津高等学校
総務部・P T A事務局
〒780-0916
高知市城北町 1-14
TEL 088-822-5270
FAX 088-823-6387

第111号若鳩

- ・二学期を振り返って
 - ・活躍の記録
 - ・後期生徒会執行部役員決定
 - ・読み聞かせ実習
 - ・カウンセラー便り
 - ・ミニ体育祭
 - ・若鳩祭
 - ・S S H活動状況報告
 - ・P T Aの活動報告
 - ・進路指導部より

七

【卓球部】		◆第78回四国高等学校卓球選手権大会	
○男子団体	出場	大友銀次郎	田朱麗
○男子シングルス	出場	濱田和樹	西村天地
○男子ダブルス	出場	奥野秀貴	岡原清
○女子団体	出場	濱田遼斗	岡原黒
◆令和7年度高知県高等学校卓球大会	出場	奥野伊吹	岡原清
男子団体	出場	海翔矢	岡原黒
逢坂小原島崎下川岩本元西田島嶺	穂花彩羽瑠歩來夏椰舞	伊翔矢	岡原の
夏季卓球大会	(1 1 1 2 2 3 3)	遼斗	岡原の
校令和7年高大会	(1 1 1 4 4 3 7 3)	和樹	岡原の
男子団体	(H H H H H H H H)	(H H H H H H H H)	(H H H H H H H H)

◆四国卓球選手権大会(ジニアの部)県予選会

★四国卓球選手権大会団体戦への出場権獲得

○男子シングルス

ベスト8

濱田 隼矢 (2-2 H)	井上 晴斗 (2-4 H)	奥野 海翔 (1-2 H)	水谷 薫 (1-1 H)
ベスト16			
第7位	小原 彩羽 (1-5 H)	西田 瑠來 (2-4 H)	下元 千夏 (2-3 H)
第8位			
第10位			

◆四国卓球選手権大会(一般の部)県予選会

★四国卓球選手権大会個人戦への出場権獲得

○女子シングルス

◆令和7年度高知県高等学校冬季卓球選手権大会(新人戦)

○男子団体

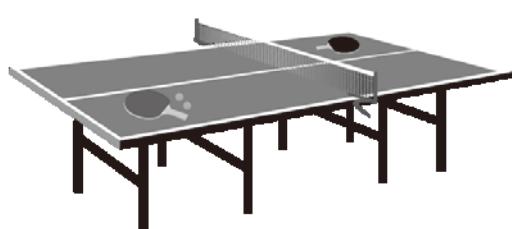
第2位

島崎 小原 彩羽 歩 (1-4 H)

逢坂 穂花 (1-5 H)

(1-7 H)

谷岡 奥野 田上 濱田 黒原 伊吹 隼矢 晴斗 太翔 (2-2 H) (2-2 H) (2-1 H) (2-1 H) (2-1 H) (2-1 H) (2-1 H) (2-1 H)



◆令和7年度高知県高等学校
校夏季バドミントン選手権大会

○女子団体 ベスト8

細川栄那(2-1H)
南白井嘉乃(2-1H)
西村弘石(1-4H)
土居翔子(1-5H)
新菜愛友(1-1H)
(1-1H)
(1-5H)

◆令和7年度高知県高等学校
校夏季バドミントン選手権大会

○男子シングルス ベスト8

橋田航典(2-1H)
(2-3H)

◆第46回国民スポーツ大会
四国ブロック大会サッカー競技

○少年男子の部 準優勝(全国大会出場)★

大川哲平(2-1H)
山本里太(1-1H)
井上翔珠人(1-1H)
濱田愛大(1-3H)
笹原漣斗(1-1H)
(1-6H)

◆第79回国民スポーツ大会
サッカー競技

○少年男子の部 出場

大川哲平(2-1H)
山本里太(1-1H)
井上翔珠人(1-1H)



◆ 第79回国民スポーツ大会 陸上競技 男子少年 A	宗石 直樹 (3-6 H)	
出場		
◆ 第27回四国高等学校新人 陸上競技選手権大会		
○ 佐竹 心和 (1-5 H)	第1位 松本 海風 (2-1 H)	○ 一般女子砲丸投
○ 一般女子やり投	第2位 野中 心結 (2-4 H)	○ 吉良 環那 (1-5 H)
○ 松本 海風 (2-1 H)	第3位 中越萌々香 (2-3 H)	○ 女子1500m
○ 吉良 環那 (1-5 H)	第4位 吉良 環那 (1-5 H)	○ 女子やり投
○ 女子800m	第5位 吉良 環那 (1-5 H)	○ 女子1500m
○ 女子800m	第3位 松本 海風 (2-1 H)	○ 女子やり投
	第8位 松本 海風 (2-1 H)	○ 吉良 環那 (1-5 H)
	第5位 野中 心結 (2-4 H)	○ 女子800m
	第1位 松本 海風 (2-1 H)	○ 女子1500m
	第7位 佐竹 心和 (1-5 H)	○ 吉良 環那 (1-5 H)



◆第46回国民スポーツ大会		◆第46回国民スポーツ大会	
○男子団体	○少年男子	○男子団体	○男子個人1年生の部
高橋 中西 石原 佐川 恒石 中川 佐川 悠太 太寿	太寿 （2-1-3H） （2-1-3H） （2-1-3H） （2-1-3H） （2-1-3H） （2-1-3H） （2-1-3H） （2-1-3H）	川原 令和7年度高知県高等学 校弓道秋季選手権大会	（3-1-7H） （3-1-7H） （3-1-7H） （3-1-7H） （3-1-7H） （3-1-7H） （3-1-7H） （3-1-7H） （3-1-7H）
第5位	第2位	第6位	第4位
第8位	佐川 大和 (1-2H)	石原 佐川 大和 匠 (1-2-1-6H)	佐川 大和 匠 (1-2-1-6H)
第9位	孝誠 (3-1-7H)	進之介 一郎 (1-1-3H)	北川 蒼一郎 (1-1-2H)
第10位	弓道競技 遠的少年男子	大和 匠 (1-2-1-6H)	宮本 一帆 (1-1-2H)
第11位	川原 孝誠 (3-1-7H)	佐川 大和 匠 (1-2-1-6H)	北川 蒼一郎 (1-1-2H)
第12位	第79回国民スポーツ大会	第6位	中川 一帆 (1-1-2H)

◆【ライフル部】

◆令和7年度高知県高等学校選手権大会

校ライフル射撃競技夏季

○ビームライフル少年男子
立射60発競技○ビームライフル少年男子
立射60発競技

◆令和7年度高知県高等学校選手権大会兼新人大会の部

校ライフル射撃競技秋季選手権大会兼新人大会

○ビームライフル少年男子
立射60発競技○ビームライフル少年男子
立射60発競技○ビームライフル少年男子
立射60発競技

★第2位 尾崎凜太朗 (2-2H)

★第1位 山本朱澪 (2-2H)

◆【水泳同好会】

◆第76回四国高等学校選手権水泳競技大会水泳競技

○女子100m自由形 出場 岡村咲希 (2-4H)

○女子50m自由形 出場 岡村咲希 (2-4H)

○女子50m自由形 出場 岡村咲希 (2-4H)

○女子50m自由形 出場 岡村咲希 (2-4H)

○女子50m自由形 出場 岡村咲希 (2-4H)



◆【ラグビー部】

◆令和7年度高知県高等学校選手権ラグビーフットボール少年男子

○ビームライフル少年男子
立射60発競技○ビームライフル少年男子
立射60発競技

★第3位 伊藤慎悟 (2-5H)

○ビームライフル少年女子
立射60発競技○ビームライフル少年女子
立射60発競技

◆第93回全国高等学校総合体育大会水球競技の部

○水球競技の部
有藤友作 (2-3H)○水球競技の部
有藤友作 (2-3H)

◆第48回全国JOCジュニアアオリンピック夏季水泳競技大会

○アオリンピック夏季水泳競技大会

生徒会長あいさつ

生徒会長 西村 梓雅

この度、生徒会長を務めることとなりました。二年

一Hの西村梓雅です。生徒

の皆さんとの声を大切にし、

これまで。今年度後期生徒会役員執行部の立候補者に

よる立会演説会が行われました。今回の選挙に

においては、生徒会長は三名、副会長は二名

による決選投票、他の役員は信任投票のの

り、役員が決定されました。

役員は信頼投票のの

による決選投票、他の役員が決定されま

たいと考えています。そのためには、生徒会のメンバーをはじめ、生徒の皆さんによる決選投票、他の役員が決定されたいと考えています。伝統を大切にしながら新しい風を取り入れ、より良い小津高校を築けるよう全力を尽くします。どうぞよろしくお願いします。

令和7年度後期生徒会執行部役員決定!



保育園「読み聞かせ」実習

これまで続けてきた読み聞かせ講習会は、今年二十回目という節目を迎えました。そして講習会で学んだことを、保育園読み聞かせ実習で生かすことができました。

講習会は、七月十八日金一学期終業式の午後、「絵本の店 コツコ・サン」の店長・森本様におこなつて、いただきました。開始後すぐは少し硬めの雰囲気で、照れもあつたようでしたが、森本様の明るい笑顔に引き込まれるようになります。同士の間にも自然と笑顔が広がつていきました。読み聞かせをおこなうに当たつてのコツや注意点など具体的なことも教わりましたが、それ以上に、「気持ちの持ちよう」など学べたことが、参加者たちにとって強く印象に残つたのではないかと思います。

読み聞かせ実習当日の七月三十日(水)は天候に恵まれ、猛暑の中、保育士等志望の三年生と、図書部員との計十一名で小高坂保育園まで徒歩で向かいました。直前の練習では、緊張や不安もしました。直前の練習では、緊張や不安も感じられましたが、「園児たちに楽しむことが大事」という助言を思い出し、落ち着きを取り戻すことができました。どんぐり上りがりでした。交流の時間に発揮された満足感が浮かんでも、そのかわいらしさにどの参加者笑顔がはじけていました。帰つてきました。おつかれさまでした。



二学期には二年に一度の若鳩祭が開催され、日常とは異なる雰囲気の生徒や学校の様子に私もワクワクしながら過ごしていました。体育祭が終わつた途端にいつもの日常が戻り、みんなの切り替えの素晴らしさに感心していました。日頃からさまざまな場面で必要とされる「切り替える力」をみんなはどうのように育んでいますか。高校生活の中では、勉強に課題に部活に：

あれもこれもしなくてはいけないことが多いのですが、自分にとつて取り組みやすいものを探すことです。しなくてはいけないことが多い時、一番エネルギーを使うのが最初の動きです。何かを始める時、一度動き始めると次の事がスムーズにできる経験は誰にでもあるのではないでしょか。最初に一番しんどいことからではなく、これならやつてもいいかなと思えるものから始めてみてください。きっと次のステップに繋がると思います。ぜひ試してくださいね。

相談室では、みなさんがよりよい高校生活を送れるよう一緒に考えていくればと思います。気軽に相談室を利用して下さい。また三学期にお会いできることを楽しみにしています。

カウンセラー便り



スクールカウンセラー
吉野 飛鳥

～ 利用方法 ～	
予 約	日 時
面談室	水曜日（12時00分～17時30分）

担当の先生やカウンセリング職員室の先生、養護教諭の先生などを通じて予約ができます。また、SCの勤務日に直接面談室に予約をとりに来てもらつても構いません。

体育祭

悪天候により順延となったミニ体育祭が9月29日(月)に行われました。ミニ体育祭ではパネル掲示や応援合戦などは行われませんが、各団・各学年による熱戦が繰り広げられ、最後は学年を越えて一致団結する姿に、大きな声援が送られ、大体育祭に負けない盛り上がりとなりました。



若鳩祭

9月20日(土)～21(日)の日程で2年に一度の若鳩祭が開催されました。1日目は体育館で開会式、企画紹介を行った後、文化部の発表を中心とした文化祭が始まりました。生徒会企画のスタンプラリーの効果も相まって、多くの生徒が様々な企画場所を訪れました。2日目の飲食店には行列ができ、各ホームや文化部の企画も人で溢れ、2日間通して約3,100人もの来場者が訪れるほど大盛況となりました。この日に向けて準備した展示、発表などを行った文化部等の団体はもちろん、各ホームで一から企画運営するという経験自体がそれぞれの成長に繋がると思いました。

各ホーム・個人の企画



ラウンドワンワン(1-1H)



縁日、はじめました。(1-3H)



おいしいだけじゃダメですか?(1-4H)



制限の多い料理店(2-1H)



Ozoo(2-2H)



OZU神社(2-3H)



よねむーのトップギアランド(2-4H)



2-6's Black Ace(2-6H)



VS混戦(2-7H)



爆食者の喜び(3-1H)



貢ちゃんも文代ちゃんも鳴った 幻のからあげ!!うどんもあるよ~(3-2H)



一平より愛をこめて(3-4H)



閉鎖病院(3-5H)

文化部活動の企画

開会式



華道部



茶道部



生物部



科学部



地学部



音楽部



フォークソング部



吹奏楽部



英語部



写真部



新聞部



書道部



漫画研究部



将棋囲碁部

SDGsや高知県の現状についての講演会で得られたグローバルとローカルの視点をふまえ、探究プロセスを実践する活動でした。問い合わせの立て方等を高知県に関するグラフを用いながら学びました。夏休みの取り組みとして、高知県の地域や特色を調べ、その中か

◆SSH課題研究活動

普通科 総合的な探究の時間

令和七年度SSH活動の概要

本校は令和六年度から、
S S H認定枠の指定を受け、これまでのS S Hの取組を継続実施しながら、『地域で活躍できる人材（リージョナル・イノベーター）の育成』に取り組んでおります。

今回は、六月以降に実施されたS S H活動の様子を中心のご紹介したいと思います。

文部科学省指定

SSH
(スーパーサイエンス
ハイスクール)

認定枠2年目

各SSH担当より

ら課題を発見して問い合わせた。クラスメイトと共有しました。さらに、立てた問いを、すぐに答えられない問い、「リサーチクラフティング」に昇華させる探索プロセスを体験しました。

ミニ課題研究を通して、二年生になつてから取り組む課題研究において求められる「課題の発見」「情報収集」「情報整理・分析」「まとめ・表現」といった力の基礎が養われました。二学期後半からは、地域フイールドワークを通して高知県の魅力や課題について理解を深めていく予定になっています。

○課題研究進捗状況クラス
発表会（二年）

十月二十八日（火）、普通科二年生は、課題研究進捗状況クラス発表会を行いました。今年は中学生の体験入学と同日に発表会をしまし



ミニ課題研究に取り組む様子

教室の中に入り、見学をしました。生徒たちは自分の研究グループメンバー以外のクラスメイトに、夏休みに行つた活動や活動結果の分析、この分析結果を受けた今後どのように活動して行くかなどについて、説明しました。この活動を通して、自分たちの研究内容を整理しながら意見をもらつたりすることことができました。次回以降は、一月の発表会に向けて、スライドを作成する活動に入ります。

◆SSH生徒研究発表会

(兵庫県神戸国際展示館)

発表会を通して、全国の高校生と交流を深めることもでき、充実した時間を過ごすことができました。 研究や、手法として機械学習などを上手く取り入れた研究など、夢のある研究ばかりでした。





SSH生徒研究発表会の様子

◆第二十七回中国・四国・九州
地区理数科高等学校課題
研究発表大会(愛媛大会)
中国・四国・九州地区の
理数科設置校の代表生徒が
一堂に集まり、課題研究の
成果を発表する大会です。
今年度は愛媛県西条市での
開催でした。

本校からは、ステージ部
門に「浦戸湾における黒い
津波の発生とその影響に
いて」(地学分野)が代表
として参加しました。昭和
の南海地震の記録写真の力
ラー化に取り組んだこと

◆第二十七回中国・四国・九州

第二回 中国国民党

ポスター部門には「NA」という「（化学分野）」が代表として参加し、長年明らかにできない「N-アセチル- α -D-グルコサミド」という構造が合成された。この構造解明に向け、単結晶の生成に取り組んだ過程を発表しました。

研究発表を通して、自分たちが取り組んできた課題研究の「面白さ」や「発展性」などにも改めて気づくことができたのではないか。人生で一番緊張した「ヤバかった。体の震えが止まらん」などの感想を漏らす生徒もおり、貴重な経験であったことが窺えます。



会場での記念撮影

◆理数科 理数探究基礎
○ミニ課題研究Ⅱの取組
(一年)

◆理数科 理数探究 ○課題研究の取組（二年）



pHと色素の関係について

二学期は、物理・化学・生物・地学・数学の各分野に分かれてミニ課題研究Ⅱに取り組んでいます。年に取り組んでいます。二年生から始まる課題研究に向けて、それぞれの分野で必要な実験器具の扱い方や仮説を明らかにするための研究計画の立て方、研究手法やスライド発表の仕方を学んでいます。

ミニ課題研究Ⅱへの取組を通して、生きた知識を身に付けるとともに、「なぜ」という疑問を深く掘り下げてほしいと思います。

限られた時間ではあります
が、主体的に研究に取り組むことで、課題発見力・
倫理的思考力・協働する力・情報収集力・情報發信力など
を伸ばし、将来的に地域で活躍できる人材（リージョナル・イノベータ）
ーに育つてもらいたいと



試薬調整の様子



実験道具の作成の様子

一
上
に
分
か
れ
て
活
動
行
つ
い
ま
す。
高知工科大学の探究サポー
ト事業を活用して、大學の先生に研究について相談する。時に乗つてもらつたり、休み時間や放課後を使つて担当教員に相談をしたり、先行研究の調査や実験に取り組んだりと、各グループが頑張つて、いろいろ姿が見られていいます。

最後のまとめでは、各班が行つた実験の結果についてまとめて発表しました。体験ゼミ終了後、参加生徒が「超伝導の仕組みについてさらに深く学びたいと思った」「身近なものと結びつけながら体験的に学べて良かった」と感想を話していました。

ははじめに超伝導について講義があり、実験のねらいで概要、理論などを確認しました。その後、班に別れ、TAの指導の下、体験実習に臨みました。試料を液体窒素で冷却し、超伝導体の性質を観察しました。磁石に対する完全反磁性を示し、超伝導体が浮く様子が見られ、生徒達は興味深く観察していました。また液体窒素を用いた実験では、空気中の酸素が冷やして液体になると水色になることを確認しました。続いて超伝導体の温度を下げて電気抵抗が0になることを確かめる実験を行いました。

◆●一短期集中体験ゼミ

七月二十五日(金)の午後、高知大学朝倉キャンパスにて、物理実験体験ゼミを実施しました。十二名の生徒が参加し、高知大学の加藤義一先生から超伝導の講義を受け、実験を行いました。

初めは A I についての基礎的な知識の確認をし、現状を注目していいるデーダーを用いて、AI の内容を実際のデータを活用し、回帰分析や散布図の作成をしました。また、講義後半はニューラルネットワークとディープラーニングについて基本知識を学習するとともに、顔認識ソフトを利用して A I の正確さや不確かさを体験しました。また、生徒が発信した単語を収集し、AI がそれらの単語を繋ぎ合わせ、曲を作成するという技術も体験することができました。様々な場所で使われている生成 A I の事例を開く

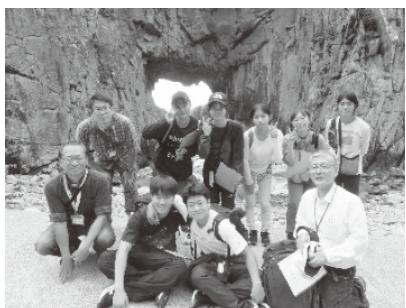
八月三十日(土)に、A I 体験ゼミを実施しました。他の県立高校からも多く参加してきました。講師は、高知工科大学の吉田真一教授で、A I 技術や情報分野に興味のある高校生に対し、分かりやすく丁寧に指導してくださいました。

は、初日黒潮町土佐佐賀では、津波避難タワーを見学するとともに地域の方々が自らできることを考え実践されていました。また入野では、安政の地震発生当時の様子が描かれた入野加茂神社震災碑の見学や黒潮町役場の防災担当の方から黒潮町の防災に対する取り組みの説明を受けたこと、災害対策に対する意識を向上させることができました。また、

◆科学巡検体験セミナー
十月二十五日(土)、二十六日(日)に、土佐清水ジオパークを中心として四国太平洋側（黒潮町、四十市、土佐清水市）の自然やその地震の形成過程および地域の人たちとの関りを考える科学体験ゼミを実施します。

回帰分析の演習の様子

くことにより、興味・関心を深め、貴重な体験をすることができました。



白山洞門にて

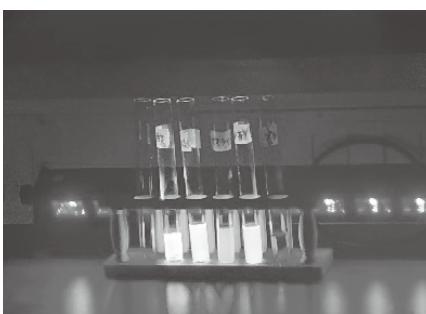
土佐清水市竜串地区では、地震津波の様子がわかる堆積岩や生痕化石の観察を行いました。足摺海洋館では、特に高知県に関わる生物の展示に尽力しており、本県の自然の恵みを実感するとともに環境保全の意識も高りました。

二日目の土佐清水市松尾地区では、漁業が栄えた文化や自然の様子、足摺岬では、火成岩の特徴的な組織を観察し、四国南西地域の地質形成過程について詳しく学習することができました。そして、乾燥や潮風に強い海岸性の植物を観察し、四国南西地域の特徴的な植生についても学習しました。この地域の方々は、今の自然の状態を残すため、様々な機関と連携し環境保全に取り組んでいることもお聞きしました。

今回の巡査を通して、国南西地域の自然や暮らしについてより理解を深めることができました。

◆化学実験体験ゼミ

◆ 化学実験体験ゼミ
十月二十五日(土)高知大学理工学部で、化学実験体験を行いました。化学生の今村和也先生指導の下、「触媒による色素の合成」実験を行いました。化学生のフルオレセインの交換膜、ゼオライト、硫酸(硫酸)を用いることで、目的物であるフルオレセインの合成にどのような影響が出るのかを体験的に学ぶことができました。また、反応が進むのを待つ間は「光触媒の超親水化」についての講義を受けました。光触媒についての話、身の回りでの活用法、それについてのトライ&エラーの過程など、少し難しい内容でした。非常に興味深い内容でしたが、大事だと学びました。また、研究をするうえで、根気強く継続することが強みを強みに、弱みを弱みに一という意識をもつた、研究をするうえで、根気強く継続することが大事だと学びました。また、研究の独自性が生まれやすいというお話を、とてても印象に残りました。今村先生は、高校生のうちに、ぜひひ校外出の活動に積極的に参加して、自分の視野を広げてほしいと仰っていました。



光触媒反応が起こる様子



今村先生の講話を受ける様子

◆その他
理数拠点校としての科学
推進事業「中学生科学実
験講座」

八月三日㈰に、「中学生科学実験講座」を開催しました。今年度は化学分野と物理・地学分野の二講座で実施しました。



与島PAでの研修の様子

置の海中大工事について、実際に使用した機械や実物模型などの展示を見ながら深く学びました。与島PAでは瀬戸大橋を実際に見ながら、本州四国連絡高速道路の職員の方から橋の概要やその管理・維持方法などを説明していただきました。その後、通常は入ることのできないアンカレイジ内に入り、瀬戸大橋の建設手順についてパネルを使つて説明していただきまし



音と振動についての実験の様子 香りのある分子の合成実験の様子

験で、高校化学の内容について体験しました。物理・地学分野では、楽器や地震の揺れについて調べる中で規則性などを発見する体験をしました。

どちらの講座も実験を通して体験的に学ぶことで、科学に対する興味・関心を高める機会にしていただけたのではないでしょうか。

来年度以降も実施していく予定ですので、ぜひ多くの中学生に参加いただければと思います。

PTAの活動報告

**PTA秋の研修行事
『救命救急法』報告**

○日 時 令和7年11月16日(日)

9時～12時

○場 所 高知小津高等学校体育館1F柔道場
(保護者等12名、生徒9名、教員2名)

○研修内容 講師 日本赤十字社高知県支部
事業推進課 田村憲嗣さん

- 人形を使用した心肺蘇生法の体験実習
- AEDの使用方法の実習
- 三角巾を使用した止血法や腕のつり方
- ロープワーク もやい結びなど

《研修に参加された方の感想》

- 実際に機械や人形を使って体験できたので理解が深まった。
- ロープワークを、笑いを交えて教えてくれた講師の田村さんが面白かった。
- 緊急時に落ち着いて対応できるように今回学んだことを活かしたいと思います。
- ロープがうまく結べた時は達成感と喜びを感じた。
- 緊急時は身近な物を使って色々と対応出来ることを知った。
- 救助隊員が到着するまでの時間、心臓マッサージを一人でするのは無理だと実感した。沢山の人が講習を受け出来るようになればいいなと思った。
- 子どもは中学校の時に講習を受けていて少し自信があつたのですが、実際は「ようせん！」と言っていたので再確認出来て良かったと思います。
- ロープワークも自衛隊の体験で教えて貰つたと言つていましたが全然できなくて、繰り返しやって習得する事が必要だと感じました。
- とつさの時に動けるような人になれる様に、又このような機会があれば参加して経験を積んでいきたいです。
- 以前消防で研修を受けたことがあります。消防(救急)の方より、詳しく説明をして頂いたと思います。

参加者が少し少なかつたのは残念でした
が来年以降は学校側とタイミングが合えば、アナウンスを早めにしても良いかと思いました。
人の命を救う難しさがわかりました。ロープワークは難しかつたけどできた時めつちや嬉しかつた。受講してよかったです。
受講する前、二時間半の講習は「長いな」と思いましたが、面白くてあつという間でした。
今回の講習が学校の授業でもあればいいのに、と思いました。
AEDの場所を聞かれた時に、先生だけでなく、生徒さんもサッと答えていたのが見て、普段から防災意識を持つようになりたくなりました！又、来て間もない人達、誰もがAEDの置いてある場所が分かるような張出が要所にあるといいなと思いました。
職業柄何度も受けている講習ですが、毎回更新されていってるので、自分も更新して古くならないよう！忘れないためにも、機会があつたら受講したいなと思います。
今回の研修に、息子と一緒に受講する事が出来ました。息子に大切な人が出来た時、誰かが助けが必要な時、私が助けて欲しい時！には助ける術と心構えが出来たと思います。いつも「人を助ける事が出来る人になりたい」と言っていますので、一歩なりたい自分に近づけたのではないかと思います。本当に感謝です！

今回の研修にご協力いただいた日赤・田村講師、山中先生、研修部の皆さん、本当にありがとうございました。



十月二十二日(水)の朝の通勤、通学の時間帯に、秋の交通安全キャンペーンを実施しました。本校の各ホームの前期交通自治委員の生徒をはじめ、高知警察署、交通安全協会高知支部の方々が参加し、本校からは六名の育成員が参加しました。また、高知丸の内高校から一名の育成員が参加してくれました。小津高校に集合した後、附属小学校南側の交差点に移動し、雨の降る中、生徒たちが安全の声がけと自転車のヘルメット着用の啓発活動を行いました。



秋の交通安全キャンペーン実施

生活委員会

十一月八日(土)十四時からPTA一年学年委員会主催で学校探検ツアーが開催され、保護者二十二名が参加しました。二班に分かれて、本校教員の案内のもと校内を探検しました。西館、保存棟、芸術棟を回り、生徒達が日頃授業や部活動で利用している教室を見学したり、校史資料室では小津高校の歴史に触れたりしました。生徒が学習をしたり部活動をしたりしている様子も見ることができてよかったですとのお声もいただきました。学校探検ツアー終了後は自由に部活動を見学しました。

また、部活動見学と並行して茶話会も行われ、十四名の保護者と教員七名が参加しました。学校や家庭での生徒の様子を共有し、交流を深めました。クラスの垣根を越えて、参加者同士が先生方も交えて和気藹々とした雰囲気のなかで話をし、クラスや家庭での子どもたちの様子や、親としての思いを分かち合うなど、お互いのことを良く知る機会となりました。



「一年学年委員会主催 『学校探検ツアーア&部活動見学&茶話会』」

グローバルトークOZU ～異文化・国際交流会～ (PTA国際委員会)

八月二十日(水)、本校にて「グローバルトークOZU～異文化・国際交流会～」が開催されました。龍馬学園で日本語を勉強中の留学生を五名お招きして、自己紹介をしていただきたのちに、グループディスカッションを行いました。今回は一年生普通科の行事と日程が重なってしまったため、生徒の参加が十名と例年より少ない参加数となりましたが、四名の保護者等の方も交流の輪に加わってください、活発に交流がなされている様子が見られました。終了後には、「日本との違いをたくさん見つけることができて楽しかった」や「異なる文化を知ることで考え方や視点が広がるなど感じた」等の感想が寄せられ、参加者にとって充実した時間とな

第七十四回全国高P連三重大会に参加しました

PTA会長 松本 憲誠

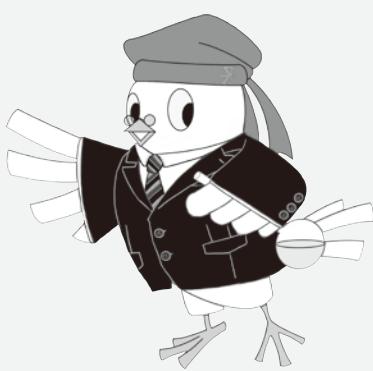
全国高等学校PTA連合会三重大会が八月二十一日(木)、二十二日(金)の二日間、三重県津市で開催され、総務部長の植村先生とともに参加してきました。大会前日に県高P連の佐竹会長らと空路、バスを利用し、まず、名古屋市にあるトヨタ産業技術記念館を訪れました。トヨタといえば日本の自動車産業をけん引してきたことで知られていますが、繊維産業においても功績は大きく、なかでも明治時代に開発された、動力を空費せず広幅の布を静かに製織できる環状織機を目当てた際に、殖産興業の旗印のもと、日本の産業近代化に情熱を捧げた技術者たちの息吹を感じました。次に三重県の鈴鹿サーキットを訪れました。ここはレーシングコースだけでなく、遊園地と一体化したレジャーエリア施設となっています。平日でしたが、家族連れで楽しむ姿が多く見られました。しかし、やはり何と言つても鈴鹿サーキットといえばモータースポーツの聖地です。八十年代末から九十年代と鈴鹿でのF1日本GPに胸を熱くしたのは私だけではないはずです。サーキットのスタンドに入ると、イルトン・セナとアラン・プロストが爆音を鳴らして迫つてくる！一瞬、そんな気にさせてくれました。その後、出雲大社を訪れました。ここは誰もが知る神社です。夕刻とも相まって境内はとても静かで心落ち着く雰囲気でした。敷地内をすべて周ることはできませんでしたが、歩みを進めることに日頃の雜踏から解放されるような気持ちになりました。

明けて大会初日は、津市・産業センターにおいて全体会が開催されました。開催にあたり三重県立四日市商業高校のギター・マンドリン部と三重県立相可高校食物調理科から、日頃の活動成果が実演と映像で発表されました。いずれの発表も軽快で素晴らしく、会場全体がステージに釘付けになっていました。そして開会行事と全国高P連関係の表彰式が行われた後、四つの会場に分かれて分科会が開催されました。私が参加した第三分科会では、テレビ番組や舞台などの脚本と演出を手掛ける國友尚氏か

ら「A I 時代におけるWell-Being」という演題で講演をいたしました。ここでは、進路やキャリアにおいて正解が見えないこの時代に、自身がどのような環境下においてもWell-Beingであるためにどう在るべきかを考えることの大切さ、多種多様な考え方のそのどれもが尊重されるべきだということを教わりました。

大会二日目の全体会は初日と同じ会場で、井村屋株式会社会長の中島伸子氏の記念講演でした。北陸トンネル火災事故での凄惨な体験から夢を断念せざるをえなくなつたこと、職場で女性蔑視の強かつた時代に逆境と格闘し、そして経営者にまでなつたこと、働きながら子育てに奮闘してきたこと等、糸余曲折の人生から学び、組織マネジメントに活かしていることを静かに語られました。しかし、その静かな口調からは重厚な人生経験に裏打ちされた確かなマネジメント力を感じさせられました。

今回の大会に参加したことにより、先行き不透明なこれから時代において、どこに軸足を据えて人生を送るべきなのか、そして子ども達の成長をどう導いていくべきなのかを考えさせられました。PTA活動においては、これまで継続してきた活動を大切にしつつ、子ども達や時代の変化に順応した活動を検討していく必要性を感じました。この経験を活かして、今後のPTA活動をさらに活発なものにしていきたいと思います。



冬来りなば春遠からレ

進路指導部

今年も残すところ約二週間となりました。一月十七日(土)、十八日(日)には大学入学共通テスト(以下、共通テスト)が実施され、大学入試も本番を迎えます。本年度、本校からは二四〇名の生徒が共通テストに出願しています。先週末には共通テスト本番と同様の日程で予行演習を実施し、受験勉強はいよいよ大詰めを迎えています。全国でも約四十万人の受験生が出願し、目前に迫った試験に向けて追い込みをかけています。まずは体調管理に努めながら、最後の最後まで全力を尽くして頑張ってください。

さて、三年生の皆さんが受験する二〇二六年度入試は、新学習指導要領に基づく教育課程で学んだ皆さんが、経過措置なしに臨む最初の入試となり、二〇二五年度入試で導入された共通テストの教科・科目の変更が、全面的に適用されることになります。本番直前の今、不安や緊張を感じるのは当然のことです。しかし、この時期こそ、これまでの努力が実を結び、最も成績が伸びる「勝負の時期」であることを忘れないでください。冬季休業中は、まとまりで時間を使い、勉強に集中できる最後の貴重な機会で

模擬試験や過去問は必ず時間を測つて解くことで「どの科目にどれくらい時間をかけるか」を体感しておきましょう。制限時間内に解ききる感覚、残り時間の感覚が、本番の落ち書きと正確な判断に繋がります。悔いの残らないよう、志望校合格に向けて最大限の努力をしてほしいと思いま

さい。最後になりましたが、入試本番となる冬は例年、感染症が流行する季節でもあります。これまでの努力を本番で十分に発揮するためには、体制を崩さないことが絶対条件です。心と身体の状態を安定させることができます。これがその第一歩です。「健康管理も入試科目の一つ」と言われるよう、質の良い睡眠、栄養のある食事、そして時には軽い運動でリフレッシュする時間も大切にし、規則正しい毎日を送りましょう。三年生の皆さんのが健闘を心より応援していま

す。今やることは、これまでの学習内容を「総ざらい」することです。新しい問題集に手をひろげるのはもう終わりにし、これまで積み重ねてきた努力を、本番で確実に点数に結びつく力に変えていきましょう。過去問や模擬試験を徹底的に復習し、これまで間違えた問題や苦手だと感じている分野に集中的に取り組むことが大切です。また、時間配分を身体で覚えることも重要です。共通テスト形式の模擬試験や過去問は必ず時間を測つて解くことで「どの科目にどれくらい時間をかけるか」を体感しておきましょう。制限時間内に解ききる感覚、残り時間の感覚が、本番の落ち書きと正確な判断に繋がります。悔いの残らないよう、志望校合格に向けて最大限の努力をしてほしいと思いま

も、高校生活で培った力や、

たかを自分の言葉で表現する力が求められます。時間的に余裕のある冬季休業中に、志望大学で学ぶことができる内容や、学問分野について確認しておきましょう。また、大

学受験には受験料に加えて、

交通費や宿泊費、合格した場

合の入学金等が必要となり、

費用面の検討も重要です。こ

の機会を利用して、進路につ

いて、保護者の方とも十分に

話し合い、準備を始めてくだ

さい。

さり、一度の若鳩祭には、二

千三百人もの方があ

りました。生徒のみなさん

や保護者等の方はもちろん

のこと、小津会やPTA

など様々な方のご協力によ

り、盛大な行事を行うこと

ができました。この場をお

よなんながら

載しました。中でも、二年

に一度の若鳩祭には、二

千三百人もの方があ

りました。生徒のみなさん

や保護者等の方はもちろん

のこと、小津会やPTA

など様々な方のご協力によ

り、盛大な行事を行うこと

ができました。この場をお

よなんながら

載しました。中でも、二年

に一度の若鳩祭には、二

千三百人もの方があ

りました。生徒のみなさん

や保護者等の方もちろん

のこと、小津会やPTA

など様々な方のご協力によ

り、盛大な行事を行うこと

ができました。この場をお

よなんながら

載しました。中でも、二年

に一度の若鳩祭には、二

千三百人もの方があ

りました。生徒のみなさん

や保護者等の方もちろん

のこと、小津会やPTA

など様々な方のご協力によ

り、盛大な行事を行うこと

ができました。この場をお

よなんながら

載しました。中でも、二年

に一度の若鳩祭には、二

千三百人もの方があ

りました。生徒のみなさん

や保護者等の方もちろん

のこと、小津会やPTA

など様々な方のご協力によ

り、盛大な行事を行うこと

ができました。この場をお

よなんながら

載しました。中でも、二年

に一度の若鳩祭には、二

千三百人もの方があ

りました。生徒のみなさん

や保護者等の方もちろん

のこと、小津会やPTA

など様々な方のご協力によ

り、盛大な行事を行うこと

ができました。この場をお

よなんながら

載しました。中でも、二年

に一度の若鳩祭には、二

千三百人もの方があ

りました。生徒のみなさん

や保護者等の方もちろん

のこと、小津会やPTA

など様々な方のご協力によ

り、盛大な行事を行うこと

ができました。この場をお

よなんながら

載しました。中でも、二年

に一度の若鳩祭には、二

千三百人もの方があ

りました。生徒のみなさん

や保護者等の方もちろん

のこと、小津会やPTA

など様々な方のご協力によ

り、盛大な行事を行うこと

ができました。この場をお

よなんながら

載しました。中でも、二年

に一度の若鳩祭には、二

千三百人もの方があ

りました。生徒のみなさん

や保護者等の方もちろん

のこと、小津会やPTA

など様々な方のご協力によ

り、盛大な行事を行うこと

ができました。この場をお

よなんながら

載しました。中でも、二年

に一度の若鳩祭には、二

千三百人もの方があ

りました。生徒のみなさん

や保護者等の方もちろん

のこと、小津会やPTA

など様々な方のご協力によ

り、盛大な行事を行うこと

ができました。この場をお

よなんながら

載しました。中でも、二年

に一度の若鳩祭には、二

千三百人もの方があ

りました。生徒のみなさん

や保護者等の方もちろん

のこと、小津会やPTA

など様々な方のご協力によ

り、盛大な行事を行うこと

ができました。この場をお

よなんながら

載しました。中でも、二年

に一度の若鳩祭には、二

千三百人もの方があ

りました。生徒のみなさん

や保護者等の方もちろん

のこと、小津会やPTA

など様々な方のご協力によ

り、盛大な行事を行うこと

ができました。この場をお

よなんながら

載しました。中でも、二年

に一度の若鳩祭には、二

千三百人もの方があ

りました。生徒のみなさん

や保護者等の方もちろん

のこと、小津会やPTA

など様々な方のご協力によ

り、盛大な行事を行うこと

ができました。この場をお

よなんながら

載しました。中でも、二年

に一度の若鳩祭には、二

千三百人もの方があ

りました。生徒のみなさん

や保護者等の方もちろん

のこと、小津会やPTA

など様々な方のご協力によ

り、盛大な行事を行うこと

ができました。この場をお

よなんながら

載しました。中でも、二年

に一度の若鳩祭には、二

千三百人もの方があ

りました。生徒のみなさん

や保護者等の方もちろん

のこと、小津会やPTA

など様々な方のご協力によ

り、盛大な行事を行うこと

ができました。この場をお

よなんながら

載しました。中でも、二年

に一度の若鳩祭には、二

千三百人もの方があ

りました。生徒のみなさん

や保護者等の方もちろん

のこと、小津会やPTA

など様々な方のご協力によ

り、盛大な行事を行うこと

ができました。この場をお

よなんながら

載しました。中でも、二年

に一度の若鳩祭には、二

千三百人もの方があ

りました。生徒のみなさん

や保護者等の方もちろん

のこと、小津会やPTA

など様々な方のご協力によ

り、盛大な行事を行うこと

ができました。この場をお

よなんながら

載しました。中でも、二年

に一度の若鳩祭には、二

千三百人もの方があ

りました。生徒のみなさん

や保護者等の方もちろん

のこと、小津会やPTA

など様々な方のご協力によ

り、盛大な行事を行うこと

ができました。この場をお

よなんながら

載しました。中でも、二年

に一度の若鳩祭には、二

千三百人もの方があ

りました。生徒のみなさん

や保護者等の方もちろん

のこと、小津会やPTA

など様々な方のご協力によ

り、盛大な行事を行うこと

ができました。この場をお

よなんながら

載しました。中でも、二年

に一度の若鳩祭には、二

千三百人もの方があ

りました。生徒のみなさん

や保護者等の方もちろん

のこと、小津会やPTA

など様々な方のご協力によ

り、盛大な行事を行うこと

ができました。この場をお

よなんながら

載しました。中でも、二年

に一度の若鳩祭には、二

千三百人もの方があ

りました。生徒のみなさん

や保護者等の方もちろん

のこと、小津会やPTA

など様々な方のご協力によ

り、盛大な行事を行うこと

ができました。この場をお

よなんながら

載しました。中でも、二年

に一度の若鳩祭には、二

千三百人もの方があ

りました。生徒のみなさん

や保護者等の方もちろん

のこと、小津会やPTA

など様々な方のご協力によ

り、盛大な行事を行うこと

ができました。この場をお

よなんながら

載しました。中でも、二年

に一度の若鳩祭には、二

千三百人もの方があ

りました。生徒のみなさん

や保護者等の方もちろん